平成24年11月20日

環境省 総合環境政策局長
白石 順一 様

一般社団法人 日本民営鉄道協会
会長 石渡 恒夫

エコレールラインプロジェクト事業へのお願いについて

民営鉄道事業につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり民営鉄道は日々通勤・通学をはじめとする3千万人近い利用者の足として、国民生活に不可欠な基幹的な公共交通機関としての役割を果たし、経済活動を支える公共インフラとなっております。

このような中、昨年の東日本大震災以降、省電力化・低炭素化に向けた社会の構築の実現は国の喫緊の課題と考えておりますが、私ども民営鉄道の分野においても、環境にやさしい鉄道を目指して省電力化・低炭素化を図ることは、大変重要な課題と認識しております。これまでもこのような観点から、鉄道車両の省エネ化、太陽光パネルの整備、駅照明等のLED化を図るなど鉄道施設の省電力化等について積極的にその推進を図ってきたところです。

今般、環境省におかれましては、鉄道分野の低炭素化を促進するため、その新たな対策事業としてエコレールラインプロジェクト事業を平成25年度概算要求の中に盛り込んでいただいておりますが、私ども民鉄事業は電力を大変多く消費する産業であり、このため、厳しい経営環境の中にあっても省電力化に努め、鉄道施設の低炭素化をこれまで以上に推進していきたいと考えております。

つきましては、下記のエコレールラインプロジェクト事業に関し、平成25年度事業としての創設と国費の確保について格別のご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

エコレールラインプロジェクト事業：国費30億円
(環境省と国土交通省との連携事業)

以上